

## 終末期リハ研究会活動報告

終末期リハ研究会 矢野俊恵

### 【はじめに】

近年作業療法の世界ではがんや終末期など人生のエンドステージでの介入に関心が高まっており、学会のシンポジウムなども定期的開催されるようになっていっています。緩和ケア病棟でのOT介入や老健での看取りなど、様々な病院・施設などにおいてOTの活躍できる分野でありながら、いまだに充分介入ができ、作業療法の効果がしめせているとは言い難い場面もあるのではないのでしょうか。

当研究会では、OTを中心にリハスタッフができることを確認しながら、終末期におけるOTの役割構築・専門性を考える機会とし、終末期リハの啓蒙と発展を目指す目的で活動しています。

### 【活動内容】

月日	テーマ・発表者	場所	参加者
6/15	全国OT学会プレ発表 『言葉をこえた関わりを考える』 友愛園 矢野	友愛園	OT 6名、PT 4名
7/4	南部病院緩和ケア病棟見学会	南部病院	OT 3名、PT 1名
8/3	日本作業療法学会報告 友愛園 矢野	友愛園	OT 7名、PT 1名
9/7	日本緩和ケア学会報告 南部病院OT 岳原	南部	OT 5名
10/5	県立中部病院におけるがん患者の動向 県立中部病院OT 田代	県立中部病院	OT 13名、OT 8名
11/2	友愛園における看取りケアの症例 豊見城中央病院PT 宮城	友愛園	OT 6名、PT 4名
12/7	終末期患者についての症例報告 浦添総合病院OT 宮城	浦添総合病院	OT 2名、PT 2名、ST 1名
1/18	終末期の方への訪問リハビリについての介入 沖縄リハビリテーションセンター病院 訪問リハOT 児玉	センター病院	OT 4名、PT 8名
2/22	キューブラー・ロス文献紹介 友愛園OT 矢野	友愛園	OT 2名、PT 2名

### 【活動結果】

研究会への参加人数はまちまちでしたが、少ない人数だからこそ密度の濃いディスカッション

ションができる場合もあり、OTだけでなく他職種も含めて終末期リハについて理解を深めることができました。また、この研究会が新たな人脈の構築にも繋がっており、終末期リハ対象者を地域で支えるネットワークづくりへの第一歩となりました。

研究会開催時には参加者へのアンケートを実施しました。今後まとめて報告する予定ですが、参加者の興味や悩みなど、研究会運営におけるヒントをいただきました。

#### 【来年度に向けて】

来年度は研究会の主要メンバーをOTだけでなく、リハ関連職種へも拡大し、緩和ケアを含む終末期リハについての啓蒙を継続したいと思っています。また、沖縄県作業療法学会を運営することとなり、学会運営を通して、沖縄県における終末期リハの発展に寄与すると共に、今後のがんリハビリ研修会の企画・運営も視野に入れた活動を行っていきたいと考えています。